

平成 25 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2013年4月～2014年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 多摩市立諏訪中学校

種別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫教育  
 中学校  高等学校  中等教育学校  
 教員養成  技術/職業教育  
 その他 ( )

住所 〒 206-0024  
東京都多摩市諏訪5-12-1

E-mail : daihyo-suwa-chu@city.tama.ed.jp

Website : http://www.tama.ed.jp/suwachu/

児童生徒数：男子 158名 女子 163名 合計 321名  
 児童・生徒の年齢 12歳～15歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ( )

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

※当報告書についてはユネスコスクールホームページに掲載するため、活動内容については、添付資料ではなく本報告書にご記入願います。

- 1 「2050年の子どもづくり」のために諏訪中学校が大切にしたいこと
- ①3年間を通じた学校外での体験活動による、人とのつながりを大切にする。
  - ②3年間を通じた農業に関する体験を通して、農業やそれに従事する人々への理解を深める。また、そのことを通して、環境・多文化共生・人権福祉の学びを深め、地球の社会・環境の中で自分が果たすべき役割について考え、自ら行動しようとする 態度の育成を目指す。

## 2 本校のESDの取り組み

- 1 学年 ○人権・福祉に関する学習→福祉体験（3日間）→まとめと発表  
○異文化理解プログラム ○伝統文化に触れる会（落語を聞く会）  
○ゴーヤの種を植えよう
- 2 学年 ○職業や自分の適性に対する学習→職場体験（5日間）→まとめと発表  
○異文化理解プログラム ○伝統文化に触れる会（落語を聞く会）  
○3学年の農業体験に向けての事前学習 ○スプラウトを育てよう  
○人権・福祉に関する学習→福祉体験（3日間）→まとめと発表
- 3 学年 ○日本の農業について考えよう→修学旅行（農業体験・3日間）  
→ホワイトブックにまとめ、発表  
○異文化理解プログラム ○伝統文化に触れる会（落語を聞く会）

## 3 3年生での農業体験

諏訪中学校では、3年生の修学旅行は岩手県一関市花泉町へ5月に農業体験を主な活動として参加している。各農家のお宅へ2～4名程度で分宿し、各家庭の一員となり様々な農業体験をするとともに、寝食を共に生活をする体験である。

3日間の農業体験を通して、生徒達は

- 農家として生産することの大変さ
- 農業に向かい合う方々のあたたかさ
- 日本の自然の豊かさ
- 職業として栽培することの大変さ
- 地域の人たち同士の人間的なつながり

などを実感として感じている。

本校には、修学旅行に行くだけでなく双方向の関わりがあり、お世話になっている花泉町の方に毎年7月に諏訪中学校のPTA主催の「かえで祭り」に参加していただいている。

当日は花泉の特産物の販売をしていただいたり修学旅行でお世話になった生徒達との語らいの場面も見られた。生徒は、農家のみなさんと諏訪中学校での久しぶりの再開に、心躍らせていた。

また、その際には、保護者と花泉の方と話をする機会や、教職員と意見を交換をする場もあり、生徒と花泉の方にとってより良い修学旅行になるよう努力を続けている。

修学旅行の3日間だけではなく、学校というチャンネルを通して諏訪中学校に関わる人全てと花泉地区の方々との関わりが継続していることが本校の特色

